



2011年5月 石原社長定例記者会見概要

5月25日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

上期7週までの平均視聴率は、全日4位、ゴールデン、プライムが5位だが、去年の上期平均に比べると、いずれも数字は上がっている。ゴールデンとプライムは、1ポイント以上上昇している。特に日曜劇場『JIN-仁-』が非常に高い視聴率を続けているので、『JIN』の効果をTBS全体のイメージアップにつなげていきたいと考えている。また『朝ズバッ!』や『ひるおび!』など帯番組も、このところ好調に数字を上げている。一方で、苦戦が続いている水曜日を中心にバラエティ番組の強化策を現場にお願いしているところだ。6月20日の週と27日の週に「ココロ元気ウィーク」を再び設定することにした。帯番組だけでなく、ゴールデン、プライムの番組でも、一層の企画強化を図りたいと考えている。

震災や原発の取材体制だが、5月1日から、JNN三陸臨時支局を開設した。また福島第一原発の取材本部を長期的に置くこととした。第一原発情報カメラを常時設置、NEWS-iとYouTubeで24時間ライブ映像を配信している。今後も節目での特番編成はもちろん、様々な番組の中でも継続して震災や原発事故を取り上げ、復興・防災について、様々な観点からお伝えしたいと考えている。

<決算総括>

TBSテレビは、スポット収入はほぼ想定どおりに回復したが、タイム収入の落ち込みが大きく、全体では減収となった。東日本大震災直後の報道特別番組の編成による影響は、タイム・スポット合わせておよそ20億円だった。事業部門においても、前年度好調だった映画の反動もあって減収となった。TBSテレビ全体では売上が67億円の減収となった。一方、あらゆる費用の効率的な運用を徹底して営業費用全体で124億円を削減、この結果、営業利益、経常利益は、前年に比べると大幅に改善し、黒字を達成できた。最終損益は18億円の赤字となったが、これは保有株式の時価下落に伴って、投資有価証券評価損など特別損失を計上したため。連結は、TBSテレビと同様に、放送事業、映像文化事業の収入の落ち込みを費用の削減でカバーし、営業利益77億円、経常利益は92億円と大幅な増益となった。連結でも多額の投資有価証券評価損を計上したが、当期純利益は黒字を確保できた。

2011年度の見通しについては、上期の放送収入は震災の影響で厳しい状況。今後広告市況がどう変わっていくかだが、当社の視聴率が回復基調にあるので、それを背景にスポットも回復できるのではないかと思う。通期では34億円ほどの増収を見込んでいる。

一方で、映像・文化事業は、前期好調だったアニメ「けいおん」の反動などで、30 億円程度の減収を予想している。この結果、TBS テレビ全体の売上高はほぼ前年度並み、営業利益はやや増益とみている。連結だが、こちらも売上高は、ほぼ横ばい。営業利益でやや増益を見込んでいる。いずれにせよ、震災の復興計画の動向や原発事故の推移、夏の電力事情など、日本経済は不透明な状況なので、広告市況の動向など経済状況に応じて適切に対応していきたい。

<夏サカス>

この夏も「夏サカス 2011～笑顔の扉～」と題して、7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日)の期間、イベントを行う。今年は震災があり、多くの人が心の傷を負った。そうした方々に笑顔や力を取り戻していただくというのが今年のコンセプトだ。TBS 開局 60 周年にも当たるので、かつての人気番組や現在放送中の番組を体験していただける、家族で楽しめるイベントになると聞いている。ただ、この夏の電力事情には十分配慮する必要があるので、イベントで使用する電力を昨年より約 50%削減する。ソーラーパネルなどのエコ電力を導入するなどして、大幅な省電力化をはかる予定だ。

<東北 3 県の地デジ延期>

被災した 3 県では、キー局がデジタル放送を送り、現地でアナログに変換する方式で対応することを軸に検討が進められていると聞いている。この方式であれば、格別に伝送料がかかるわけではないと思う。ただし、被災 3 県の局では老朽化したアナログ放送設備の維持や変換した際の技術的な問題もありそうなので、総務省に対して、運用面や法制上で、柔軟な対応を民放連と共にお願いしているところだ。

<ラジオ関連> TBSR&C 加藤社長

2010 年度決算は、小幅な減収で踏みとどまった一方、コスト削減への努力も成果を上げ、すべての利益ベースで増益という結果となった。今後とも体質強化をすすめたい。4 月の聴取率調査の結果、2001 年 8 月以来 59 期連続のトップとなったが、セットインユースは引き続き厳しい。4 月改編の新番組では『鈴木おさむ 考えるラジオ』に手応えを感じている。

『ニュース探究ラジオ Dig』が第 48 回ギャラクシー賞ラジオ部門で入賞作品に選ばれた。「被災地にあなたのラジオを」キャンペーンでこれまでお届けしたラジオは、TBS ラジオが用意したものも含めて合計 5,748 台となった。修理を継続し、ある程度の数が整ったところで仮設住宅等へお届けする予定である。

以上